# NEC

# Express5800 シリーズ ESMPRO<sup>®</sup>/ACB1ade 管理オプション Ver5.0

UL1046-404 UL1046-H404 UL1046-J404

セットアップカード

## ごあいさつ

このたびは ESMPRO/ACB1ade 管理オプション Ver5.0をお買い上げ頂き、誠にありが とうございます。

本書は、お買い上げ頂きましたセットの内容確認、セットアップの内容、注意事項 を中心に構成されています。 ESMPRO/ACB1ade 管理オプション Ver5.0をお使いになる 前に、必ずお読みください。

Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-V は、米国 Microsoft Corporation の米国お よびその他の国における登録商標です。

CLUSTERPRO、ESMPROは、日本電気株式会社の登録商標です。

Smart-UPS、PowerChute、APC は、Schneider Electric Industries SAS またはその関連会社 の登録商標または商標です。

その他の会社および製品の名称は、総てそれぞれの所有する登録商標または商標です。

## 目次

第1章	製品内容	4
第2章	セットアップの準備	5
2.1	ESMPRO/ACBlade 管理オプションのセットアップ環境	5
2.2	Express5800/BladeServer へのセットアップに関して	7
2.3	Express5800/BladeServerのHWセットアップに関して	8
第3章	セットアップの方法	
3.1	ESMPRO/ACBlade 管理オプションのインストール	
3.2	ESMPRO/ACBlade 管理オプションのアンインストール	
第4章	Express5800/BladeServerをマルチサーバ構成へ登録	21
4.1	インストール済みのACサービスと連携しての登録	21
4.2	サーノシン手動登録	
第5章	Express5800/BladeServerを使ったマルチサーバ構成例	29
5.1	構成例(1)	
5.2	構成例(2)	
5.3	構成例(3)	31
5.4	構成例(4)	
5.5	構成例(5)	
第6童	DeploymentManagerを使ったインストール方法	34

## 第1章 製品内容

ESMPRO/ACB1ade 管理オプション Ver5.0のパッケージの内容は、製品同梱の「構成 品表」に含まれています。

添付品が全部そろっているかどうか、確認してください。

### 第2章 セットアップの準備

ESMPRO/ACBlade 管理オプションは ESMPRO/AutomaticRunningController、ESMPRO/AC Enterprise のオプション製品です。ESMPRO/ACBlade 管理オプション Ver5.0 をご使用になるためには、ESMPRO/AutomaticRunningController Ver5.0 、ESMPRO/AC Enterprise Ver5.0 も併せてセットアップが必要です。

#### 2.1 ESMPRO/ACB lade 管理オプションのセットアップ環境

ESMPRO/AC管理オプションをセットアップするためには、次の環境が必要です。

① ハードウェア

<サーバ>

・対象機種
 ・メモリ
 : Express5800シリーズ、iStorage NSシリーズ
 : 2.5 MB以上
 ESMPRO/AutomaticRunningController、
 ESMPRO/AC Enterpriseと合計すると6.0 MB以上 ※1

ESMPRO/AC Enterpriseと合計するとり、UMB以上 ※1

・固定ディスクの空き容量: 3.0 MB以上

ESMPRO/AutomaticRunningController、 ESMPRO/AC Enterpriseと合計すると22.0MB以上

※1 連動端末にVMware ESXiを登録した場合、6.0MB+40MB以上のメモリが必要となります。

<クライアント>

- ・対象機種
   : PC98-NXシリーズ、PC-AT互換機、Express5800シリーズ
- ・メモリ
   : 2.5MB以上
- ・固定ディスクの空き容量: 7.0 MB以上

#### ② ソフトウェア

<サーバ>

Windows Server 2012 R2 Standard/Datacenter Windows Server 2012 Standard/Datacenter Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise Windows Server 2003 R2 Standard Edition/Enterprise Edition/Small Business Server Windows Server 2003 Standard Edition/Enterprise Edition/Datacenter Edition/Small Business Server Windows Storage Server 2008 R2 Windows Storage Server 2008 Windows 8 Pro Windows 7 Professional Windows Vista Business Windows XP Professional Vindows XP Professional

Windows Server 2012 R2 Standard/Datacenter Windows Server 2012 Standard/Datacenter Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise Windows Server 2008 Standard/Enterprise Windows Server 2003 R2 Standard Edition/Enterprise Edition/Small Business Server Windows Server 2003 Standard Edition/Enterprise Edition/Datacenter Edition/Small Business Server Windows 8 Pro

Windows 7 Professional

Windows Vista Business

Windows XP Professional

\* AMC (AC Management Console)機能によりマルチサーバ構成で制御される被制 御サーバ(連動サーバ)には、ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション がセットアップされている必要があります。 連動サーバがExpress5800/BladeServerシリーズの場合は、連動サーバには ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションがセットアップされている必要があ ります。

最新の動作環境については、本製品のご紹介サイトでご確認ください。URL 情報は製品添付品を ご確認ください。

#### 2.2 Express5800/BladeServerへのセットアップに関して

Express5800/BladeServerへESMPRO/ACBlade 管理オプション、 ESMPRO/AutomaticRunningController、ESMPRO/AC Enterpriseをセットアップする方法として、 2通りの方法があります。ご利用の環境に応じて選択してください。

- I. WebSAM DeploymentManager(以降、DeploymentManager と記載)のアプリケーションの自動インストール機能を利用して、OS インストール時に自動インストールする方法。
  - →「第6章 DeploymentManager を使ったインストール方法」の項を参照してください。
     ESMPRO/ACB1ade 管理オプション、ESMPRO/AutomaticRunningController、
     ESMPRO/AC Enterprise を一括して OS インストール時にモジュールをインストールできます。
- II. Express5800/BladeServer に CRT、キーボード、マウス、CD-ROM ドライブを接続してローカルインストールする方法。
  - →「Express5800/BladeServer シリーズ ユーザーズガイド」を参照して、 Express5800/BladeServer に CRT、キーボード、マウス、CD-ROM ドライブを 接続し、Express5800/BladeServer から CD-ROM ドライブがアクセス可能な状 態にします。
     その後「第3章 セットアップの方法」に従ってセットアップしてください。

#### 2.3 Express5800/BladeServerのHWセットアップに関して

(1) システムBIOSの設定に関して

Express5800/BladeServerをESMPRO/AutomaticRunningController製品群で自動運転するために必要な設定を行ってください。

システムBIOSの変更方法に関しては、Express5800/BladeServerシリーズ本体装置に添付のマニュアルを参照してください。

(ア)AC-LINKの設定

ブレード収納ユニットにUPS装置を接続し、Express5800/BladeServerへESMPRO/ACBlade 管理オプションをインストールして制御サーバとして使用する場合は、[Power On]を設 定します。

Express5800/BladeServerへESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションをインストールし、 連動サーバとして使用する場合は、[Stay 0FF]を設定します。

(イ)リモートパワーオンの設定

Wake On LANによる起動ができるように、BIOS設定においてWake On LANの設定を有効に してください。 サーバ基盤表面などに貼られた MAC addressを記載したシール、また はDeploymentManagerの設定情報などを確認して、MAC addressを確認/控えておいてく ださい。

(2) 制御サーバと連動サーバ間のネットワーク接続に関して リモートパワーオンが有効なLANポートにて制御サーバと連動サーバ間のネットワークを 接続してください。また、リモート管理モジュールをインストールした管理マシンから リモートでサーバ起動を行う場合は、管理マシンから接続されているネットワークをリ モートパワーオンが有効なLANポートに接続します。 (3) Express5800/BladeServerの収納位置を識別する位置情報に関して

ESMPRO/ACBlade 管理オプションでは、Express5800/BladeServerの収納位置を識別する 位置情報として、以下の情報を使用します。

- (ア) ラック番号
   → ブレード収納ユニットを格納するラックを識別する番号を指します。
   1から16の値を使用します。
   ラックごとに重ならないように設定します。
- (イ) ブレード収納ユニット番号
  - →ブレード収納ユニットを識別する番号(\*)を指します。 1から16の値を使用します。
    - \* ブレード収納ユニットを識別する番号は、ブレード収納ユニット前面右端に位置する筐体 ID スイッチ(ロータリスイッチ)が指す値(0からF)を10進数に変換後、1を加算した値を使用します。
      - 例:ロータリスイッチの値が0の場合、1
        - ロータリスイッチの値がFの場合、16

なお、SIGMABLADEのブレード管体など、管体IDスイッチ(ロータリスイッチ)が存在しないブレード収納ユニットを使用する場合は、他のブレード管体のユニット番号と重複しない、1~16の任意の数字を割り当ててください。

- (ウ) スロット番号
  - → CPU ブレードを挿入したスロット位置を指します。

「第4章 Express5800/BladeServerをマルチサーバ構成へ登録」において、以下の画面で Express5800/BladeServerの位置情報の設定、確認が必要になりますので、セットアップを 始める前に確認願います。



<u>注意</u>: Express5800/BladeServer以外のサーバの場合は、ラック:255、ブレード収納 ユニット:255、スロット:255を入力します。

## 第3章 セットアップの方法

#### 3.1 ESMPRO/ACBlade 管理オプションのインストール

#### <u>注意</u>

DeploymentManagerのアプリケーションの自動インストール機能を使用してESMPRO/ACBlade 管理 オプション(サーバ系製品)をインストールする場合、「第6章 DeploymentManagerを使ったインス トール方法」を参照してください。

- AdministratorもしくはAdministrator権限のあるユーザでコンピュータにログオンし、ラベル に『ESMPRO/AutomaticRunningController CD 2.0』と記載されているCD-ROMをCD-ROMドライブ にセットします。
- (2) CD-ROMドライブの『Setupac.exe』を起動します。

ESMPRO/AutomaticRunningController関連製品	セットアップ	
動作を選択		
◎ インストール	0 アン	インストール
ンストール/アンインストールを実施する製品を選択し、	チェックをつけてくださ	il 10
お、インストール済に表示されている情報は以下のとおりです	す。	
<ul> <li>○…同じバージョンの製品がインストール済</li> <li>△…異なるバージョンの製品がインストール済(インストールさ</li> </ul>	れているバージョンを	併記〉
サーバ系製品群 クライアント系製品群		
製品名	バージョン	インストール済
ESMPRO/AutomaticRunningController	5.0	○(5.0)
ESMPRO/AC Enterprise	5.0	○(5.0)
ESMPRO/AC Advance	5.0	×
■ESMPRO/ACBlade 管理オブション	5.0	×
□ESMPRO/AC MSCSオプション	5.0	×
■ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション	5.0	×
□ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション	5.0	×
□ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプション	5.0	×
1		
実行		終了

- (3) 「ESMPRO/ACB1ade 管理オプション」のセットアップには「サーバ系製品」と「クライアント 系製品」があります。
  - ◆ ESMPRO/ACB1ade 管理オプションのサーバ系製品をインストールする場合、「動作を選択」 のラジオボタンで「インストール」を選択したあと、サーバ系製品群タブの中から ESMPRO/ACB1ade 管理オプションを選択し、チェックを有効にします。

🎪 ESMPRO/AutomaticRunningController関連製品	セットアップ	×
41/1-4/3310		
◎ インストール	070	パンストール
インストール/アンインストールを実施する製品を選択し、	チェックをつけてくだ	さい。
なお、インストール済に表示されている情報は以下のとおりで	す。	
○…同じバージョンの製品がインストール済		
Δ…異なるバージョンの製品がインストール済(インストールさ     ×…まインフトール。	執ているバージョン	を併記)
サーバ系製品群(クライアント系製品群)		
製品名	バージョン	インストール済
ESMPRO/AutomaticRunningController	5.0	○(5.0)
ESMPRO/AC Enterprise	5.0	○(5.0)
ESMPRO/AC Advance	5.0	×
▼ESMPRO/ACBlade 管理オブション	5.0	×
□ESMPRO/AC MSCSオプション	5.0	×
■ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション	5.0	×
ESMPRO/AC Advance マルチサーバオブション	5.0	×
■ESMPRO/ACBlade マルチサーバオブション	5.0	×
		447
美行 美行		終了

 ◆ ESMPRO/ACB1ade 管理オプションのクライアント系製品をインストールする場合、「動作を 選択」のラジオボタンで「インストール」を選択したあと、クライアント系製品群タブの中 からESMPRO/ACB1ade 管理オプションを選択し、チェックを有効にします。

🗞 ESMPRO/AutomaticRunningController関連	製品セットアップ	×		
_ 動作を選択				
◎ インストール	0 アン・	インストール		
インストール/アンインストールを実施する製品を選	択し、チェックをつけてくださ	ર્ધ 1 <sub>0</sub>		
なお、インストール済に表示されている情報は以下のとお	5りです。			
〇…同じバージョンの製品がインストール済 ム…異なるバージョンの製品がインストール済(インストールされているバージョンを併記) ×…未インストール				
サーバ系製品群(クライアント系製品群)				
製品名	バージョン	インストール済		
ESMPRO/AutomaticRunningController	5.0	×		
ESMPRO/AC Enterprise	5.0	×		
ESMPRO/AC Advance	5.0	×		
▼ESMPRO/ACBlade 管理オプション	5.0	×		
実行		終了		

- (4) 「実行」ボタンを選択します。
- (5) 選択した製品のインストール確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。

ESMPRO/AutomaticRunningController セットアップ	×
以下製品のインストール処理を行います。 よろしいでしょうか? <サーバ系製品> ESMPRO/ACBlade 管理オブション Ver5.0	
(はい(Y) いいえ(N)	

(6) サーバ系製品を選択した場合、ライセンスキーの入力が促されますので、ライセンスキーを入力し、「OK」ボタンを選択します。

ESMPRO/AC関連製品セットアップ	×			
次の製品のソフトウェアライセンスキーに記載されているライセンスキーを入力し てください。				
ESMPRO/ACBlade 管理オプション Ver5.0				
ļ – ļ	-			
ОК	キャンセル			

- (7)ファイルの転送が開始されます。
- (8) 次の画面が表示されたら、インストールの完了です。「完了」ボタンを選択します。

ESMPRO/ACBlade 管理オブション	セットアップ*
	InstallShield Wizard の完了
	セットアッフ"は、コンビュータへのESMPRO/ACBlade 管理オプションのインストール を完了しました。フログラムを使用する前に、コンビュータを再起動してください。
	< 戻る(B) <b>たて</b> キャンセル

(9) 最初の画面に戻り、ESMPRO/ACBlade 管理オプションのインストール済欄に〇およびバージョンが表示されていることを確認します。

<サーバ系製品インストール後の画面>

🎪 ESMPRO/AutomaticRunningController関連製品	品セットアップ	×		
-動作を選択	072	インストール		
インストール/アンインストールを実施する製品を選択し、チェックをつけてください。 なお、インストール済に表示されている情報は以下のとおりです。 〇…同じバージョンの製品がインストール済				
△…異なるバージョンの製品がイソストール済(インストール ×…未インストール サーバ系製品群 しクライアント系製品群	きれているバージョンを バージョン	2(井記) インストール済		
■ESMPRO/AutomaticRunningController ■ESMPRO/AC Enterprise ■ESMPRO/AC Advance	5.0 5.0 5.0 5.0	O(5.0) O(5.0) × O(5.0)		
ESMPRO/AC MSCS/Jyay       ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブション       ESMPRO/AC Advance マルチサーバオブション       ESMPRO/AC Blade マルチサーバオブション	5.0 7 5.0 5.0 5.0	× × × ×		
		終了		

<クライアント系製品インストール後の画面>

🛞 ESMPRO/AutomaticRunningController関連	製品セットアップ	×		
© <u>772F-11</u>	0 7V-	シストール		
インストール/アンインストールを実施する製品を選	択し、チェックをつけてくださ	6 10		
なお、インストール済に表示されている情報は以下のと	らりです。			
○…同じバージョンの製品がインストール済 △…異なるパージョンの製品がインストール済(インストールされているバージョンを併記) ×…未インストール				
サーバ系製品群 クライアンド系製品群		1		
製品名	バージョン	インストール済		
ESMPRO/AutomaticRunningController	5.0	×		
ESMPRO/AC Enterprise	5.0	×		
ESMPRO/AC Advance	5.0	×		
□ ESMPRO/ACBlade 管理オプション	5.0	○(5.0)		
実行		終了		

ESMPRO/ACB1ade管理オプションクライアントツールの使用方法については、スタートメニューの[ESMPRO\_ACB\_E Client]→[マルチサーバ構成データ編集]を起動した後の「ヘルプ」にてご確認ください。

#### 注意

- ESMPRO/AutomaticRunningController Ver5.0 および ESMRO/AC Enterprise 5.0 がセットアップ されていない場合は、 セットアップを一度終了してください。
   その後、ESMPRO/AutomaticRunningController Ver5.0 および ESMRO/AC Enterprise 5.0 のセッ トアップを行った後、再度本セットアップを実行してください。
- ・ インストール後は、Setupac. exe を終了してシステムを再起動してください。
- バージョンアップセットアップでは、これまでの運用で設定した情報を保持したまま、モジュールのコピーを行います。
- セットアップの実行中に<終了>及び<キャンセル>ボタンを押すと、セットアップ中止の確認の メッセージが表示されます。そのメッセージボックスで<終了>ボタンを押すと、セットアッ プは中止されます。その場合、途中まで転送されたファイルの削除は行われませんのでご注意 ください。
- Windows ファイアウォール機能が有効な環境において利用する場合、Windows ファイアウォ ールの設定画面の[例外]タブの「プログラムの追加」から"AC Management Console"のプログ ラム(amc.exe)および"AC\_B\_DEP.exe"のプログラムを登録してください。

#### 3.2 ESMPRO/ACBIade 管理オプションのアンインストール

- (1) インストールを行ったAdministratorもしくはAdministrator権限のあるユーザでコンピュー タにログオンし、ラベルに『ESMPRO/AutomaticRunningController CD 2.0』と記載されてい るCD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。
- (2) CD-ROMドライブの『Setupac.exe』を起動します。

🏘 ESMPRO/AutomaticRunningController関連製品	セットアップ	×
┌動作を選択		
	C 7.	ンインストール
ー インストール/アンインストールを実施する製品を選択し、	チェックをつけてくた	idu.
なお、インストール済に表示されている情報は以下のとおりです	す。	
○…同じバージョンの製品がインストール済 Δ…異なるバージョンの製品がインストール済(インストールさ ×…未インストール	れているバージョン	を併記)
サーバ系製品群(クライアント系製品群)		
製品名	バージョン	インストール済
ESMPRO/AutomaticRunningController	5.0	(5.0)
ESMPRO/AC Enterprise	5.0	○(5.0)
ESMPRO/AC Advance	5.0	×
□ ESMPRO/ACBlade 管理オプション	5.0	○(5.0)
■ESMPRO/AC MSCSオプション	5.0	×
ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション	5.0	×
ESMPRO/AC Advance マルチサーバオブション	5.0	×
□ESMPRO/ACBlade マルチサーバオブション	5.0	×
		終了

- (3) 「ESMPRO/ACB1ade 管理オプション」のセットアップには「サーバ系製品」と「クライアント 系製品」があります。
  - ◆ ESMPRO/ACB1ade 管理オプションのサーバ系製品をアンインストールする場合、「動作を選択」のラジオボタンで「アンインストール」を選択したあと、サーバ系製品群タブの中から ESMPRO/ACB1ade 管理オプションを選択し、チェックを有効にします。

カ作を選択			
○ インストール	• 72-	インストール	
ノストール/アンインストールを実施する製品を選択し、	チェックをつけてくださ	il 10	
5、インストール済に表示されている情報は以下のとおりです	す。		
<ul> <li>○…同じバージョンの製品がインストール済</li> <li>△…異なるバージョンの製品がインストール済(インストールされているバージョンを併記)</li> <li>×…未インストール</li> <li>サーバ系製品群</li> <li>クライアント系製品群</li> </ul>			
	バージョン	インストール済	
ESMPRO/AutomaticRunningController	5.0	○(5.0)	
ESMPRO/AutomaticRunningController ESMPRO/AC Enterprise	5.0 5.0	○(5.0) ○(5.0)	
ESMPRO/AutomaticRunningController ESMPRO/AC Enterprise ESMPRO/AC Advance	5.0 5.0 5.0	○(5.0) ○(5.0) ×	
■ESMPRO/AutomaticRunningController ■ESMPRO/AC Enterprise ■ESMPRO/AC Advance ▼ESMPRO/ACBlade 管理オプション	5.0 5.0 5.0 5.0	○(5.0) ○(5.0) × ○(5.0)	
<ul> <li>ESMPRO/AutomaticRunningController</li> <li>ESMPRO/AC Enterprise</li> <li>ESMPRO/AC Advance</li> <li>✓ ESMPRO/ACBlade 管理オブション</li> <li>ESMPRO/AC MSCSオプション</li> </ul>	5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0	○(5.0) ○(5.0) × ○(5.0) ×	
<ul> <li>ESMPRO/AutomaticRunningController</li> <li>ESMPRO/AC Enterprise</li> <li>ESMPRO/AC Advance</li> <li>ESMPRO/ACBlade 管理オブション</li> <li>ESMPRO/AC MSCSオブション</li> <li>ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション</li> </ul>	5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0	○(5.0) ○(5.0) × ○(5.0) × ×	
<ul> <li>ESMPRO/AutomaticRunningController</li> <li>ESMPRO/AC Enterprise</li> <li>ESMPRO/AC Advance</li> <li>■ ESMPRO/ACBlade 管理オブション</li> <li>ESMPRO/AC MSCSオプション</li> <li>ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション</li> <li>ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション</li> </ul>	5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0	○(5.0) ○(5.0) × ○(5.0) × × × ×	
<ul> <li>ESMPRO/AutomaticRunningController</li> <li>ESMPRO/AC Enterprise</li> <li>ESMPRO/AC Advance</li> <li>✓ ESMPRO/ACBlade 管理オブション</li> <li>ESMPRO/AC MSCSオプション</li> <li>ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション</li> <li>ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション</li> <li>ESMPRO/AC Blade マルチサーバオプション</li> </ul>	5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0	○(5.0) ○(5.0) × ○(5.0) × × × × × ×	
<ul> <li>ESMPRO/AutomaticRunningController</li> <li>ESMPRO/AC Enterprise</li> <li>ESMPRO/AC Advance</li> <li>✓ ESMPRO/AC Blade 管理オブション</li> <li>ESMPRO/AC MSCSオプション</li> <li>ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション</li> <li>ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション</li> <li>ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション</li> </ul>	5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0	○(5.0) ○(5.0) × ○(5.0) × × × × × ×	

◆ ESMPRO/ACB1ade 管理オプションのクライアント系製品をアンインストールする場合、「動作を選択」のラジオボタンで「アンインストール」を選択したあと、クライアント系製品群タブの中からESMPRO/ACB1ade 管理オプションを選択し、チェックを有効にします。

🍻 ESMPRO/AutomaticRunningController関連	製品セットアップ	×
┌ 動作を選択		
◎ インストール	© 724	シストール
インストール/アンインストールを実施する製品を選	訳し、チェックをつけてくださ	, ìo
なお、インストール済に表示されている情報は以下のとお	おりです。	
○…同じバージョンの製品がイソストール済 Δ…異なるバージョンの製品がイソストール済(イソス ×…未イソストール	トールされているバージョンを使	相己〉
サーバ系製品群 クライアント系製品群		
製品名	バージョン	インストール済
ESMPRO/AutomaticRunningController	5.0	×
ESMPRO/AC Enterprise	5.0	×
ESMPRO/AC Advance	5.0	×
▼ESMPRO/ACBlade 管理オブション	5.0	○(5.0)
実行		終了

(4) 「実行」ボタンを選択します。

(5) 選択した製品のアンインストール確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。



(6) インストーラが起動され、もう一度確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択し ます。

ファイル剤除	の確認 🛛 🔀
?	選択したアフツケーション、およびすべての機能を完全に削除しますか?

- (7)ファイルの削除が行われます。
- (8) 次の画面が表示されたら、アンインストールの完了です。「完了」ボタンを選択します。



- (9) 最初の画面に戻り、ESMPRO/ACBlade 管理オプション のインストール済欄に×が表示されて いることを確認します。
  - <サーバ系製品アンインストール後の画面>

選択 ・ インストール ・ ル/アンインストールを実施する製品を選択し、チェックをつけてください。 パトール済に表示されている情報は以下のとおりです。 同じバージョンの製品がインストール済 異なるパージョンの製品がインストール済(インストールされているバージョンを併記) 未インストール 深製品群 クライアント系製品群   製品名 バージョン インストール SMPRO/AC Enterprise 5.0 (5.0 SMPRO/AC Enterprise 5.0 (5.0 SMPRO/AC Advance 50 × SMPRO/AC MSCSオラション 5.0 × SMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブション 5.0 × SMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブション 5.0 × SMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブション 5.0 × SMPRO/AC Blade マルチサーバオブション 5.0 ×	SMPRO/AutomaticRunningController関連製品セットアップ		
<ul> <li>インストール         ・アンインストールを実施する製品を選択し、チェックをつけてください。         ペストール済に表示されている情報は以下のとおりです。     </li> <li>同じパージョンの製品がインストール済 異なるパージョンの製品がインストール済 れつストール</li> <li>クライアント系製品群         クライアント系製品群         クライアント系製品群         クライアント系製品群      </li> <li>SMPRO/AC Enterprise         5.0</li></ul>	∑選択		
ール/アンインストールを実施する製品を選択し、チェックをつけてください。       パール済に表示されている情報は以下のとおりです。       同じバージョンの製品がインストール済 異なるパージョンの製品がインストール済 (インストールされているパージョンを併記) 末インストール       パージョンの製品がインストール済(インストールされているパージョンを併記) 末インストール       パージョン       グライアント系製品群       製品名     パージョン       グリストール       SMPRO/AutomaticRunningController     5.0       SMPRO/AC Enterprise     5.0       SMPRO/AC Enterprise     5.0       SMPRO/AC Blade 管理オブション     5.0       SMPRO/AC MSCSオラション     5.0       SMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブション     5.0       SMPRO/AC Advance マルチサーバオブション     5.0       SMPRO/AC Blade マルチサーバオブション     5.0       SMPRO/AC Blade マルチサーバオブション     5.0	○ インストール	• <u>7</u> 2-	インストール
-ハノ ア ノ インストールを実施する製品を運動し、チェックをつけていたさい。       パー・ジョンの製品がインストール済 異なるパー・ジョンの製品がインストール済(インストールされているバー・ジョンを併記) 未インストール       「系製品群」       製品名     バー・ジョン       クライアント系製品群」       製品名     バー・ジョン       「SMPRO/Actionatic Running Controller     5.0       SMPRO/AC Enterprise     5.0       SMPRO/AC Enterprise     5.0       SMPRO/AC Ellade 管理オブション     5.0       SMPRO/AC Blade 管理オブション     5.0       SMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブション     5.0       SMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブション     5.0       SMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブション     5.0       SMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブション     5.0	ニリ、ノマシノシフトニリズ実技士を制品を避ね	エーックボーマイギョ	1.5
パー・ジョンの製品がインストール済 異なるパー・ジョンの製品がインストール済(インストールされているパー・ジョンを併記) 末インストール       グライアント系製品群       製品名     パー・ジョン       グライアント系製品群       製品名     パー・ジョン       グワイアント系製品群       製品名     パー・ジョン       グワイアント系製品群       製品名     パー・ジョン       グリストール       SMPRO/AutomaticRunningController     5.0       SMPRO/AC Enterprise     5.0       SMPRO/AC Enterprise     5.0       SMPRO/AC Advance     5.0       SMPRO/AC MSCSオフション     5.0       SMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション     5.0       SMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション     5.0       SMPRO/AC Advance マルチサーバオプション     5.0       XMPRO/AC Blade マルチサーバオプション     5.0		- -	'V 'o
同じバージョンの製品がイソストール済 異なるパージョンの製品がイソストール済(イソストールされているパージョンを併記) 未イソストール	ソストール滑に表示されている情報は以下のとおりです	F.	
Algority Control Controller 5.0 (5.0)     SMPRO/Ac Enterprise 5.0 (5.0)     SMPRO/AC Enterprise 5.0 (5.0)     SMPRO/AC Enterprise 5.0 (5.0)     SMPRO/AC Enterprise 7.0	同じバージョンの製品がクストール済	to the state of the state	(¥==)
係製品群 タライアント系製品群) 製品名 バージョン インストール SMPRO/AutomaticRunningController 5.0 O(5.0 SMPRO/AC Enterprise 5.0 O(5.0 SMPRO/AC Advance 5.0 × SMPRO/AC Blade 管理オブション 5.0 × SMPRO/AC MSCSオラション 5.0 × SMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブション 5.0 × SMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブション 5.0 × SMPRO/AC Advance マルチサーバオブション 5.0 ×	乗なるハーンヨンの 裂□□/ハ1ノストール/負く1ノストール♂  未インストール	กแจกระสวชา	井吉仁/
シライアンド条製品群     シライアンド条製品群       製品名     バージョン       SMPRO/AutomaticRunningController     5.0       SMPRO/AC Enterprise     5.0       SMPRO/AC Enterprise     5.0       SMPRO/AC Advance     5.0       SMPRO/AC Blade 管理オブション     5.0       SMPRO/AC MSCSオブション     5.0       SMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブション     5.0       SMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブション     5.0       SMPRO/AC Advance マルチサーバオブション     5.0       SMPRO/AC Blade マルチサーバオブション     5.0			
製品名 パージョン インストール SMPRO/AutomaticRunningController 5.0 〇(5.1 SMPRO/AC Enterprise 5.0 〇(5.1 SMPRO/AC Advance 5.0 × SMPRO/AC Blade 管理オプション 5.0 × SMPRO/AC MSCSオプション 5.0 × SMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション 5.0 × SMPRO/AC Advance マルチサーバオプション 5.0 × SMPRO/AC Blade マルチサーバオプション 5.0 ×	1糸製品群 クライアント糸製品群		
SMPRO/AutomaticRunningController     5.0     〇(5.1)       SMPRO/AC Enterprise     5.0     〇(5.1)       SMPRO/AC Enterprise     5.0     〇(5.1)       SMPRO/AC Advance     5.0     ×       SMPRO/AC Blade 管理オブション     5.0     ×       SMPRO/AC MSCSオフション     5.0     ×       SMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション     5.0     ×       SMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション     5.0     ×       SMPRO/AC Advance マルチサーバオプション     5.0     ×	製品名	バージョン	インストール消
SMPRO/AC Enterprise 5.0 〇(5) SMPRO/AC Advance 5.0 × SMPRO/AC Blade 管理オプション 5.0 × SMPRO/AC MSCSオプション 5.0 × SMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション 5.0 × SMPRO/AC Advance マルチサーバオプション 5.0 × SMPRO/ACBlade マルチサーバオプション 5.0 ×	ESMPRO/AutomaticRunningController	5.0	○(5.0)
SMPRO/AC Advance     5.0     ×       SMPRO/ACBlade 管理オプション     5.0     ×       SMPRO/AC MSCSオプション     5.0     ×       SMPRO/AC MSCSオプション     5.0     ×       SMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション     5.0     ×       SMPRO/AC Advance マルチサーバオプション     5.0     ×       SMPRO/AC Blade マルチサーバオプション     5.0     ×	ESMPRO/AC Enterprise	5.0	○(5.0)
SMPRO/ACBlade 管理オプション     5.0     ×       SMPRO/AC MSCSオプション     5.0     ×       SMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション     5.0     ×       SMPRO/AC Advance マルチサーバオプション     5.0     ×       SMPRO/AC Blade マルチサーバオプション     5.0     ×	ESMPRO/AC Advance	5.0	×
SMPRO/AC MSCSオラション 5.0 × SMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション 5.0 × SMPRO/AC Advance マルチサーバオプション 5.0 × SMPRO/AC Blade マルチサーバオプション 5.0 ×	ESMPRO/ACBlade 管理オブション	5.0	×
SMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション     5.0     ×       SMPRO/AC Advance マルチサーバオプション     5.0     ×       SMPRO/AC Blade マルチサーバオプション     5.0     ×	ESMPROZAC MSCSオブション	5.0	X
SMPRO/AC Advance マルチサーバオプション 5.0 × SMPRO/ACBlade マルチサーバオプション 5.0 ×	ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブション	5.0	×
SMPRO/ACBlade マルチサーバオブション 5.0 ×	ESMPRO/AC Advance マルチサーバオブション	5.0	×
	ESMPRO/ACBlade マルチサーバオブション	5.0	×
	実行		総7

<クライアント系製品アンインストール後の画面>

」ESMPRO/Automatic RunningController與連 - 動作を選択	製品ゼットアップ	
0 インストール	© 72-	インストール
インストール/アンインストールを実施する製品を選 はお、インストール剤に表示されている情報は以下のとお	択し、チェックをつけてくださ 3りです。	ι
○…同じパージョンの製品がインストール済 Δ…異なるバージョンの製品がインストール済イクスト ×…未インストール	ヽールされているバージョンを!	併記〉
サーバ系製品群 2フイアント糸製品群 製品名	バージョン	インストール済
ESMPRO/AutomaticRunningController	5.0	×
ESMPRO/AC Enterprise	5.0	×
ESMPRO/AC Advance	5.0	×
□ESMPRO/ACBlade 管理オプション	5.0	×
		4

(10) アンインストール後は、Setupac. exe を終了してシステムを再起動してください。

## 第4章 Express5800/BladeServer をマルチサーバ構成へ登 録

Express5800/BladeServer を AMC(AC Management Console)で管理するマルチサーバ構成へ登録する 方法を説明します。

#### 4.1 インストール済みのACサービスと連携しての登録

ESMPRO/ACB1ade 管理オプション(サーバモジュール)をインストールした制御サーバ、または ESMPRO/ACB1ade 管理オプション (リモート管理モジュール)をインストールしたリモート管理マシンで 行います。

予め、登録する Express5800/BladeServer には ESMPRO/ACBlade 管理オプション(サーバモジュール)、 または ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションをインストールしておきます。

もしインストールされていない状態で行う場合は、(2)の画面で[サーバ情報個別追加]ボタンを 押すと、[ESMPRO/ACB1ade サーバ情報]画面を表示されますので、空欄部分を入力することで登録作業 を行うことは出来ます。

- (1) ESMPRO/ACBlade 管理オプション(サーバモジュール)がインストールされている場合 は、[スタート]→[プログラム]→[ESMPRO\_AutomaticRunningController]→[AC Management Console]を選択して、AMCを起動し、[編集]→[電源制御グループ作成]で Express5800/BladeServerを登録する電源制御グループを作成します。 リモート管理モジュールがインストールされている場合は、[スタート]→[プログラ ム]→[ESMPRO\_ACB\_E Client]→[マルチサーバ構成データ編集]→[AC Management Consoleの起動]を選択して、AMCを起動してExpress5800/BladeServerを登録する電源 制御グループを作成します。
- (2) 電源制御グループを右クリックして表示されるメニューから、[ブレードサーバ構成 編集]を選択すると、
   以下の画面が表示されます。



「OK」ボタンを選択すると、AMCが終了し、[ESMPRO/ACBlade AMC管理オプション画面]が表示されます。

*ットワーク上の ESMPRO/AutomaticRunningController 情報検索 注動サーバ (	II御サーバ II御サーバ I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I  I < I	電源制御クループ ¥¥network¥BLADE構成#1	DeploymentManager 情報検索 Installイメージの作成
連動サーバ	車動サーバ 車動サーバ (	制御サーバ	ネットワーク上の ESMPRO/AutomaticRunningController 情報検索
	↑ -> ↓ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	↓	->
			-> サーバ情報 (個別追加) (個別編集)

(3) [ネットワーク上のESMPRO/AutomaticRunningController情報検索]ボタンを選択する
 と、[ESMPRO/ACB1ade ネットワーク AC検索]画面が表示されます。

ESMPRO/ACBlade ネットワーク AC検索	\$			×
IP address(検索開始アドレス) 「 IP address(検索終了アドレス)	検索 ->			
		追加	キャンセル	

ESMPRO/ACB1ade 管理オプションまたはESMPRO/ACB1ade マルチサーバオプションをイ ンストールしたExpress5800/B1adeServerのIPアドレスの範囲を指定し、[検索]ボタ ンを押して検索します。

検出に成功したサーバのコンピュータ名が、右側に一覧表示されます。

- (4) (3)の検索したコンピュータ名を選択して、[追加]ボタンを押します。
   [ESMPRO/ACB1ade ネットワークAC検索]画面が閉じ、[ESMPRO/ACB1ade AMC管理オプション画面]に戻ります。[ESMPRO/ACB1ade AMC管理オプション画面]の右側に追加したコンピュータ名が表示されます。
- (5) この電源制御グループに登録するコンピュータ名を選択し、[サーバ情報個別編集]ボ タンをクリックして、[ESMPRO/ACB1ade サーバ情報]画面を表示します。

PRO/ACBlade	サーバ情報
位置情報 ラック 1	プ <b>レード収容ユニット スロット</b> ESMPRO/DeploymentManager からの読込
サーバ種別 名称 (コンピュ Linuxの場	Windowsサーバ       BLADE-11       ドメイン名       -夕名: 15文字まで。       (ドメイン名を登録。例: domain.co.jp)       合は大人小文字を区別する必要あり)
IP address ユーザ名 パスワード	I72.16.1.160         ESMPRO/AC サービスからの読込           (対象サーバに接続可能なユーザ名、バスワード)         サーバへの接続確認
MAC address シナリオ	00-00-4C-71-00-01 MAC -> 位置 確認 位置 -> MAC 確認
シナリオ情報(Jr OS Window NC種別	istall)
シナリオ情報(部 IP address 1 IP address 2	(定) (ラメータ) [172.16.1.160 SubNetMask 255.255.0 SubNetMask 255.255.0
IP address 3 SNMP	SubNetMask ]

- (6) 位置情報の[ラック]にラック番号を1~16の値を入力します。 ラック番号はブレード収納ユニットを格納するラックを識別するための番号です。 位置情報の[ブレード収納ユニット]、[スロット]と[MAC address]を入力します。位 置情報はHWのセットアップ情報等を基に入力してください。
- (7) サーバ種別を選択して、名称(コンピュータ名)、IP addressを入力してください。
- (8) MAC addressはIP addressに割り当てられたMACアドレスを入力してください。 MAC addressは「 00-00-4c-71-00-01 」のように、数値の間を「-」で区切ってください。 連動サーバの起動は、制御端末からWake On LANパケットを受信して行われます。 この際、制御端末から連動端末へのWake On LANパケットは、ブロードキャスト・ア ドレス宛に送信されます。このため、制御端末の監視対象となる連動端末は、制御端 末と同じネットワークセグメントで構築されている必要があります。 また、AFT(アダプタ・フォールト・トレラント)によるチーミング設定またはvIO に よる仮想MAC の設定を行っている場合、いずれかの物理的なMAC addressを登録する 必要があります。物理MAC addressと異なるユニークなMAC アドレスを割り当てた場 合、Wake On LAN による運用は行えません。
- (9) シナリオ情報(Install)の設定値は"サーバ種別"を選択した際に自動設定される値か ら変更しないでください。
- (10) シナリオ情報(設定パラメータ)のネットワーク情報の空欄部分を入力します。
- (11) [ESMPRO/ACB1ade サーバ情報] 画面の[OK] ボタンをクリックして、
   [ESMPRO/ACB1ade AMC管理オプション画面]に戻った後、制御サーバまたは連動サーバ
   に割り振ります。
   画面中央にある上の[<-]ボタンをクリックすることで制御サーバに、下の[<-]ボ</li>

タンをクリックすることで連動サーバに割り振ることが出来ます。

- → ESMPRO/ACB1ade 管理オプションをインストールしたサーバ(選択中のサーバ情報
- に「Blade管理」と表示)は制御サーバに移動します。
- → ESMPRO/ACB1ade マルチサーバオプションをインストールしたサーバ(選択中のサ
- ーバ情報に「Bladeマルチサーバオプション」と表示)は連動サーバに移動します。
- (12) 検出したExpress5800/BladeServerに対して、(6)から(11)の操作を行った
   後、[終了]ボタンをクリックすると、以下の画面が表示され、[はい]をクリックする
   と、AMCの画面が起動されます。

ESMPRO/AC Blade: DeploymentDlg	×
データを保存しました。 AMC画面に戻りますか?	
(	

- (13) 異なる電源制御グループにExpress5800/BladeServerを登録する場合は、新たに電源制御グループを作成し、(2)から(12)の操作を行います。
- (14) システム構成に応じて、UPS装置、Express5800/BladeServer以外のExpressサーバ、 連動装置の登録を行います。これらの装置の登録方法に関しては「ESMPRO/AC Enterprise Ver5.0 セットアップカード」を参照願います。
- (15) AMC画面で[ファイル]→[設定保存]を選択して、設定情報を保存します。
- (16) ESMPRO/ACB1ade 管理オプション(サーバモジュール)がインストールされており、 制御サーバとして使用する場合は、OSを再起動します。
   (19)に進みます。
- (17) ESMPRO/ACB1ade 管理オプション (リモート管理モジュール)だけがインストール されている場合は、AMCを終了すると、マルチサーバ構成データ編集ツールが表示さ れます。 マルチサーバ構成データ編集ツールの[編集データファイルの送信/受信]ボタンをク リックして、ESMPRO/ACB1ade 管理オプション(サーバモジュール)がインストールさ れているサーバに、マルチサーバ構成ファイル(ac\_e\_net.cfg)を送信します。マルチ サーバ構成データ編集ツールの操作方法はマルチサーバ構成データ編集ツールのヘル プを参照願います。
- (18) マルチサーバ構成ファイル(ac\_e\_net.cfg)を受け取ったESMPRO/ACB1ade 管理オプ ション(サーバモジュール)がインストールされているサーバのOSを再起動します。
- (19) ESMPRO/ACB1ade 管理オプション(サーバモジュール)がインストールされているサ ーバでAMCを起動し、Express5800/B1adeServerの状態表示が「マスタ動作中」または 「通常運用中」であれば登録が完了です。

#### 注意:

DeploymentManager を使用して制御端末の自動インストールを行った場合、制御端末のライセンスが登録されておりません。制御端末のライセンス登録は、スタートメニューの[すべてのプログラム] -> [ESMPRO/AutomaticRunningController]->[ESMPRO\_AC ライセンス]から別途行う必要があります。

#### 4.2 サーバの手動登録

ESMPRO/ACB1ade 管理オプション(サーバモジュール)、または ESMPRO/ACB1ade マルチサーバオプションを インストールしていないサーバについては、AC サービスとの連携を利用した登録ができないため、以下の手順で手動登録 してください。

- (1) ESMPRO/ACBlade 管理オプション(サーバモジュール)がインストールされている場合 は、[スタート]→[プログラム]→[ESMPRO\_AutomaticRunningController]→[AC Management Console]を選択して、AMCを起動し、[編集]→[電源制御グループ作成]で Express5800/BladeServerを登録する電源制御グループを作成します。 リモート管理モジュールがインストールされている場合は、[スタート]→[プログラ ム]→[ESMPRO\_ACB\_E Client]→[マルチサーバ構成データ編集]→[AC Management Consoleの起動]を選択して、AMCを起動してExpress5800/BladeServerを登録する電源 制御グループを作成します。
- (2) 電源制御グループを右クリックして表示されるメニューから、[ブレードサーバ構成 編集]を選択すると、以下の画面が表示されます。

AC	Manag	ement Console	×
	?	設定情報を保存して、ブレードサーバ用の構成編集画面を起動します。 よろしいですか?	
		「OK キャンセル	

「OK」ボタンを選択すると、AMCが終了し、[ESMPRO/ACB1ade AMC管理オプション画面]が表示されます。

🙀 ESMPRO/ACBlade AMC管理オブション画面	×
電源制御グループ  ¥¥network¥BLADE構成#1	DeploymentManager 情報検索 Installイメージの作成
	ネットワーク上の ESMPRO/AutomaticRunningController 情報検索
」 連動サーバ	
<u>↓</u>	サーバ情報 (個別追加 1個別編集
選択中のサーバ情報	
	終了 キャンセル

(3) [サーバ情報個別追加]ボタンをクリックして、[ESMPRO/ACB1ade サーバ情報]画面を 表示します。

PRO/ACBlade	・サーバ情報
位置情報 ラック 1	フ <sup>・</sup> レード収容ユニット スロット ESMPRO/DeploymentManager からの読込
サーバ種別 名称 (コンピュ:	Windowsサーバ         ・           BLADE-11         ドメイン名           -ウ各・15文字まで。         ・           ・         ・           ・         ・           ・         ・           ・         ・           ・         ・
Linuxのが IP address ユーザ名 バスワード	Intervention         ESMPRO/AC サービスからの読込           「172.16.1.160         ESMPRO/AC サービスからの読込           (対象サーバは接続可能なユーザ名、パスワード)         サーバへの接続確認
MAC address シナリオ	00-00-4C-71-00-01         MAC -> 位置 確認           位置 -> MAC 確認
シナリオ情報(Ji OS Window AC種別	nstall)PP
シナリオ情報(話 IP address 1 IP address 2	5定パラメータ) 「72.16.1.160 SubNetMask 255.255.255.0 SubNetMask [255.255.255.0]
IP address 3 SNMP	SubNetMask
	<u>ОК</u> ++уъл

- (4) 位置情報の[ラック]にラック番号を1~16の値を入力します。 ラック番号はブレード収納ユニットを格納するラックを識別するための番号です。 位置情報の[ブレード収納ユニット]、[スロット]と[MAC address]を入力します。位 置情報はHWのセットアップ情報等を基に入力してください。
- (5) サーバ種別を選択して、名称(コンピュータ名)、IP addressを入力してください。

※サーバ種別に「ESXiサーバ」を選択している場合、ユーザ名、パスワード、ドメイン名を登録してください。
登録の際は、大文字、小文字を区別して正確に入力してください。ホスト名の情報(例:esxi4-120bb6)は"名称"の項目に入力してください。
登録するユーザ名は、rootアカウントまたはrootアカウントと同等の権限を持つユーザアカウントを設定してください。
各情報を入力後は「サーバへの接続確認」ボタンを押してアクセスが正しく行えることを確認してください。
(正しく行えた場合、以下のメッセージが表示されます。)

ESMPRO/	ACBlade: DeploymentDlg
<b>i</b>	指定されたユーザ名/パスワードで対象サーバへの接続が確認されました。
	<u>OK</u>

- (6) MAC addressはExpress5800/BladeServerのLANポートのMACアドレスを入力してください。MAC addressは「00-00-4c-71-00-01」のように、数値の間を「-」で区切ってください。 連動サーバの起動は、制御端末からWake On LANパケットを受信して行われます。 この際、制御端末から連動端末へのWake On LANパケットは、ブロードキャスト・アドレス宛に送信されます。このため、制御端末の監視対象となる連動端末は、制御端末と同じネットワークセグメントで構築されている必要があります。 また、AFT(アダプタ・フォールト・トレラント)によるチーミング設定またはvIO による仮想MAC の設定を行っている場合、いずれかの物理的なMAC addressを登録する必要があります。物理MAC addressと異なるユニークなMAC アドレスを割り当てた場合、Wake On LAN による運用は行えません。
- (7) シナリオ情報(Install)の設定値は"サーバ種別"を選択した際に自動設定される値か ら変更しないでください。
- (8) シナリオ情報(設定パラメータ)のネットワーク情報の空欄部分を入力します。
- (9) [ESMPRO/ACB1ade サーバ情報] 画面の[OK] ボタンをクリックして、[ESMPRO/ACB1ade AMC管理オプション画面]に戻った後、制御サーバまたは連動サーバに割り振ります。
   画面中央にある上の[<-]ボタンをクリックすることで制御サーバに、下の[<-]ボタンをクリックすることで連動サーバに割り振ることが出来ます。</li>
  - → ESMPRO/ACB1ade 管理オプションをインストールしたサーバ(選択中のサーバ情報 に「B1ade管理」と表示)は制御サーバに移動します。
  - → ESMPRO/ACB1ade マルチサーバオプションをインストールしたサーバ(選択中のサ
  - ーバ情報に「Bladeマルチサーバオプション」と表示)は連動サーバに移動します。
- (10) Express5800/BladeServerに対して、(3)から(9)の操作を行った後、[終了] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示され、[はい]をクリックすると、AMCの 画面が起動されます。



- (11) 異なる電源制御グループにExpress5800/BladeServerを登録する場合は、新たに電源制御グループを作成し、(2)から(10)の操作を行います。
- (12) システム構成に応じて、UPS装置、Express5800/BladeServer以外のExpressサーバ、 連動装置の登録を行います。これらの装置の登録方法に関しては「ESMPRO/AC Enterprise Ver5.0 セットアップカード」を参照願います。
- (13) AMC画面で[ファイル]→[設定保存]を選択して、設定情報を保存します。
- (14) ESMPRO/ACB1ade 管理オプション(サーバモジュール)がインストールされており、 制御サーバとして使用する場合は、OSを再起動します。
   (17)に進みます。
- (15) ESMPRO/ACB1ade 管理オプション (リモート管理モジュール)だけがインストール されている場合は、AMCを終了すると、マルチサーバ構成データ編集ツールが表示さ れます。

マルチサーバ構成データ編集ツールの[編集データファイルの送信/受信]ボタンをク リックして、ESMPRO/ACB1ade 管理オプション(サーバモジュール)がインストールさ れているサーバに、マルチサーバ構成ファイル(ac\_e\_net.cfg)を送信します。マルチ サーバ構成データ編集ツールの操作方法はマルチサーバ構成データ編集ツールのヘル プを参照願います。

- (16) マルチサーバ構成ファイル(ac\_e\_net.cfg)を受け取ったESMPRO/ACB1ade 管理オプ ション(サーバモジュール)がインストールされているサーバのOSを再起動します。
- (17) ESMPRO/ACB1ade 管理オプション(サーバモジュール)がインストールされているサ ーバでAMCを起動し、Express5800/B1adeServerの状態表示が「マスタ動作中」または 「通常運用中」であれば登録が完了です。

## 第5章 Express5800/BladeServer を使ったマルチサーバ構 成例

Express5800/BladeServer では UPS を接続せずにサーバの自動運転を実現するなど、従来のマルチ サーバ構成には存在しなかった構成をサポートしています。ここでは Express5800/BladeServer を含 めたマルチサーバ構成例、ならびに AMC の構成図を掲載します。

### 5.1 構成例(1)

UPS を接続せず、制御サーバが Express5800/BladeServer 1 台、連動サーバが Express5800/BladeServer 1 1台

🔁 AC Management Console – ESMPRO	)/AC Enterprise		
ファイル(E) 編集(E) 操作(S) 表示(V	) ヘルフ°( <u>H</u> )		
u u 🖉 🖉 🖉 🖉 🖉 🖓	8		
編集モードで動作しています。 現在の	編集ファイル名 🗔	ESMACBCL¥DAT/	AFOLDER¥ac_e_net.cfg
<ul> <li>■●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●</li></ul>	名称 BLADE構成 BLADE-11 BLADE-12 BLADE-13 BLADE-13 BLADE-13 BLADE-14 BLADE-15 BLADE-16 BLADE-21 BLADE-22 BLADE-22 BLADE-23 BLADE-23 BLADE-25 BLADE-25	IP address           255.255.255.255           172.16.1.101           172.16.1.103           172.16.1.103           172.16.1.105           172.16.1.105           172.16.1.106           172.16.1.121           172.16.1.123           172.16.1.123           172.16.1.124           172.16.1.125           172.16.1.126	説明           ブレード制御サーバ           ブレード連動サーバ#1           ブレード連動サーバ#2           ブレード連動サーバ#3           ブレード連動サーバ#4           ブレード連動サーバ#5           ブレード連動サーバ#6           ブレード連動サーバ#7           ブレード連動サーバ#10           ブレード連動サーバ#11
	•		<b>&gt;</b>
レディ			

ブレード収納ユニット#1 BLADE-11からBLADE-16まで格納 BLADE-11が制御サーバ

ブレード収納ユニット#2 BLADE-21から BLADE-26 まで格納



#### 5.2 構成例(2)

制御サーバが Express5800/BladeServer1台、連動サーバが Express5800/BladeServer11台。 2台のブレード収納ユニットを1台の UPS に接続。

💦 AC Management Console – ESMPRO	)/AC Enterprise					
ファイル(E) 編集(E) 操作(S) 表示(V	) ヘルフ°( <u>H</u> )					
] 🗄 🖀 🗇 🥔 🖓 🤣	8					
編集モードで動作しています。 現在の編集ファイル名 C:¥ESMACBCL¥DATAFOLDER¥ac_e_net.cfg						
⊡ <mark>1</mark> 13 network	名称	IP address	説明			
□ <mark>1</mark> 3 BLADE構成#2	BLADE構成#2	255.255.255.255				
■_ BLADE構成#2	SUPS_001	172.16.1.200	BLADE接続UPS			
	BLADE-11	172.16.1.101	ブレード制御サーバ			
SUPS_001	📕 BLADE-12	172.16.1.102	ブレード連動サーバ#1			
	🗐 BLADE-13	172.16.1.103	ブレード連動サーバ#2			
BLADE-11	🗐 BLADE-14	172.16.1.104	ブレード連動サーバ#3			
	🛑 BLADE-15	172.16.1.105	ブレード連動サーバ#4			
BLADE-12	BLADE-16	172.16.1.106	ブレード連動サーバ#5			
	BLADE-21	172.16.1.121	ブレード連動サーバ#6			
	BLADE-22	172.16.1.122	ブレード連動サーバ#7			
	BLADE-23	172.16.1.123	ブレード連動サーバ#8			
	BLADE-24	172.16.1.124	ブレード連動サーバ#9			
BLADE-22	BLADE-25	172.16.1.125	ブレード連動サーバ#10			
BLADE-23	BLADE-26	172.16.1.126	ブレード連動サーバ#11			
BLADE-24	۲ <u> </u>					
BLADE-25						
BLADE-26						
I			<u> </u>			
Þ7 <sup>°</sup> i						

ブレード収納ユニット#1 BLADE-11から BLADE-16まで格納 BLADE-11が制御サーバ

ブレード収納ユニット#2 BLADE-21 から BLADE-26 まで格納



### 5.3 構成例(3)

制御サーバは従来の Express サーバ。連動サーバは Express5800/BladeServer が6台。従来の Express サーバとブレード収納ユニットを1台の UPS に接続

💦 AC Management Console - ESN	1PRO/AC Enterprise			×			
ファイル(E) 編集(E) 操作(S) 表	示(⊻) ^ルプ(⊞)						
티 🏼 📰 🗇 🖉 🤌 🤧 🦅							
編集モードで動作しています。 現在の編集ファイル名 Ci¥ESMACBCL¥DATAFOLDER¥ac_e_net.cfg							
⊡ <mark>14</mark> 3 network	名称	IP address	説明	状			
🖻 🔣 BLADE構成#3	BLADE構成#3	255.255.255.255					
■ BLADE構成#3	SUPS_001	172.16.1.200	EXP接続UPS				
	EXP-100	172.16.1.100	従来EXP制御サーバ				
	📒 BLADE-11	172.16.1.101	ブレード連動サーバ#1				
	📒 BLADE-12	172.16.1.102	ブレード連動サーバ#2				
	📒 BLADE-13	172.16.1.103	ブレード連動サーバ#3				
	📒 BLADE-14	172.16.1.104	ブレード連動サーバ#4				
	BLADE-15	172.16.1.105	ブレード連動サーバ#5				
BLADE-13	📒 BLADE-16	172.16.1.106	ブレード連動サーバ#6				
BLADE-14							
BLADE-15							
BLADE-16							
	•			►			
ν <del>7</del> °r				//			

ブレード収納ユニット#1BLADE-11から BLADE-16まで格納全て連動サーバ

従来の Express サーバ EXP-100 が制御サーバ



#### 5.4 構成例(4)

制御サーバは従来の Express サーバ。連動サーバは Express5800/BladeServer が6台。従来の Express サーバを UPS に接続、ブレード収納ユニットには UPS を接続しない。

💦 AC Management Console – ESMPR	O/AC Enterprise		<u>- 0 ×</u>		
ファイル(E) 編集(E) 操作(S) 表示(V) ヘルプ(H)					
🗉 🖬 🗇 🖉 🖉 🖉 🕬	8				
~ 編集モードで動作しています。 現在の編集ファイル名 C:¥ESMACBCL¥DATAFOLDER¥ac_e_net.cfg					
🖃 🔣 network	名称	IP address	説明		
□ 13 BLADE構成#4	🗐 BLADE構成#4	255.255.255.255			
■ BLADE構成#4	SUPS_001	172.16.1.200	EXP接続UPS		
	EXP-100	172.16.1.100	従来EXP制御サーバ		
SUPS_001	BLADEユニット#1	255.255.255.255			
	📒 BLADE-11	172.16.1.101	ブレード連動サーバ#1		
	📒 BLADE-12	172.16.1.102	ブレード連動サーバ#2		
	📒 BLADE-13	172.16.1.103	ブレード連動サーバ#3		
	🗐 BLADE-14	172.16.1.104	ブレード連動サーバ#4		
	📒 BLADE-15	172.16.1.105	ブレード連動サーバ#5		
	📒 BLADE-16	172.16.1.106	ブレード連動サーバ#6		
BLADE-11					
BLADE-12					
BLADE-13					
BLADE-14					
BLADE-15					
BLADE-16					
	•		•		
, לדיר	, <u> </u>	[			

ブレード収納ユニット#1 BLADE-11から BLADE-16まで格納 全て連動サーバ

従来の Express サーバ EXP-100 が制御サーバ



## 5.5 構成例(5)

制御サーバは従来の Express サーバ。連動サーバは Express5800/BladeServer が6台。従来の Express サーバを UPS に接続、ブレード収納ユニットには別の UPS を接続する。

💦 AC Management Console – ESMPR	O/AC Enterprise					
ファイル(E) 編集(E) 操作(S) 表示()	⊻) ^ルフ°( <u>H</u> )					
] 🖬 🖀 🗇 🖉 🖉 🍠 🌮	8					
編集モードで動作しています。現在の編集ファイル名 C:¥ESMACBCL¥DATAFOLDER¥ac_e_net.cfg						
⊡- <mark>17</mark> network	名称	IP address	[説明] []			
□	BLADE構成#6	255.255.255.255				
BLADE構成#6	SUPS_001	172.16.1.200	EXP接続UPS			
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	EXP-100	172.16.1.100	従来EXP制御サーバ			
	BLADEユニット#1	255.255.255.255				
	SUPS_002	172.16.1.201	BLADEユニット#1接続UPS			
	🗐 BLADE-11	172.16.1.101	ブレード連動サーバ#1			
117 准则师而木	🗐 BLADE-12	172.16.1.102	ブレード連動サーバ#2			
	🗐 BLADE-13	172.16.1.103	ブレード連動サーバ#3			
	📒 BLADE-14	172.16.1.104	ブレード連動サーバ#4			
	🗐 BLADE-15	172.16.1.105	ブレード連動サーバ#5			
	📒 BLADE-16	172.16.1.106	ブレード連動サーバ#6			
BLADE-11						
BLADE-12						
BLADE-13						
BLADE-14						
BLADE-15						
BLADE-16						
	•		► I			
, גדיז						

ブレード収納ユニット#1 BLADE-11からBLADE-16まで格納 全て連動サーバ

従来の Express サーバ EXP-100 が制御サーバ



### 第6章 DeploymentManager を使ったインストール方法

DeploymentManagerのアプリケーション自動インストール機能を使用すると、ブレードサーバの電源制御に対応した以下の製品をインストールすることができます。

<制御端末パッケージ>

- ESMPRO/AutomaticRunningController
- ESMPRO/AC Enterprise
- ・ESMPRO/ACB1ade 管理オプション
- <連動端末パッケージ>
- ・ESMPRO/ACB1ade マルチサーバオプション

以下、DeploymentManager で使用するインストールパッケージの作成手順を説明いたします。 DeploymentManager 操作手順の詳細については、「DeploymentManager ユーザーズガイド」を参照し てください。

#### <u>注意:</u>

DeploymentManager を使用して自動インストールを行った場合、インストールしたパッケージに含まれる製品のライセンスキー登録が別途必要となります。 ライセンスキーの登録は、制御端末パッケージをセットアップしたサーバ上の[スタート] → [すべてのプログラム] → [ESMPRO/AutomaticRunningController] -> [ESMPRO\_AC ライセンス]から行って ください。ライセンスキーの登録方法については、ESMPRO/AutomaticRunningController のセット アップカードを参照してください。

- (1) 「ESMPRO/AutomaticRunningController CD 2.0」CD-ROM 媒体を CD-ROM ドライブにセットしてくだ さい。
- (2) 「DeploymentManager」->「イメージビルダ」を起動します。
- (3) パッケージの登録/修正を選択します。
- (4) 「ファイル」->「Windows パッケージの作成」を指定します。
- (5) 「基本」タブに情報を入力します。 タイプは必ず"アプリケーション"を指定してください。以下、登録例を示します。

(例)

<制御端末の場合> パッケージ ID: Master-Win 会社名:NEC リリース日付:2012/10/23 パッケージ概要:ESMPRO/AC 5.0 制御端末(Windows) タイプ:アプリケーション 緊急度:一般 表示名:ESMPRO/AC5.0 制御端末(Windows) 表示バージョン:5.00 <連動端末の場合> パッケージ ID: Slave-Win 会社名:NEC リリース日付:2012/10/23 パッケージ概要:ESMPRO/AC 5.0 連動端末(Windows) タイプ:アプリケーション 緊急度:一般 表示名:ESMPRO/AC5.0 連動端末(Windows) 表示バージョン:5.00

(6) 「実行設定」タブに情報を入力します。

●「コピーするフォルダ」グループの設定 フォルダ名には CD-ROM ドライブ直下を指定し、「追加」ボタンを選択します。 CD-ROM ドライブ:¥

●「インストール」グループの設定 実行ファイル 以下のモジュールを指定します。 CD-ROM ドライブ:¥acbsetup.exe

セットアップパラメータ 作成するパッケージが制御端末か連動端末かによって、指定するセットアップパラメータも 異なります。以下を参照し、セットアップパラメータを指定してください。 <制御端末の場合> -ACBE

<連動端末の場合> -ACBM

- (7)「対応 OS と言語」タブに、以下の情報を入力します。
   OS: ALL OS
   言語: Japanese
- (8)「OK」ボタンを選択し、「Windows パッケージの作成」画面を終了します。ここまでの操作により、 DeploymentManager に ESMPRO/AutomaticRunningController のパッケージが登録されます。
- (9) DeploymentManager を起動し、(8)までの操作で登録したパッケージ ID を指定してシナリオを新規 作成してください。これで登録作業は完了です。